

GK情報レポート

【2016年発行】

vol. 50

秋号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 短納期・小ロット対応
2. 納期対応・品質改善活動について
3. 「関西高機能金属展～メタル大阪」に出展しました
4. 銅相場『2016年第4四半期見通し』

皆様でご回覧下さい。

回覧印										
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～49）用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

1. 短納期・小ロット対応

近年、国内外の様々な案件の短納期化が進み、それに伴い素材においても短納期での供給の要望が日を増して高まっています。更に、価格や品質・納期だけでなく、必要な時に必要な物量が手に入るというのが、お客様が最も重要視する時代になりました。

市場の動向としては、在庫は必要最低限しか持たず、出来れば削減したいという方向に動いています。そんな中、当社はお客様からお聞きした情報を元に、長期的視野で生産計画を組み、ピレットなどの在庫も強化していきます。

当社はおお客様の必要な時(=短納期)に、必要な物量(=小ロット)のご注文にも柔軟に対応して、お客様の当社への満足度をより高めていきたいと考えています。

当社は伸銅メーカーですが、在庫販売も行なっています。在庫サイズのご注文は、1本から(もしくは1配送100kgから)承ります。また、下表に各品種の在庫サイズを記していますが、下表以外の製作サイズのご要望に対しても、柔軟かつ迅速に対応いたします。製作サイズのロットに関しては、ブスバーは最小ロット300kgから承ります。銅丸棒及び真鍮丸棒に関しては、110Φまでは最小ロット300kgから、115Φ以上のサイズに関しては、1本からでも承ります。

まずはどうぞお気軽に当社営業員までお問い合わせ下さい。

営業部 高橋

C1100BB-1/2H 在庫サイズ

3×10×5,000	5×40×5,000	6×125×5,000	8×200×5,000	12×150×5,000
3×12×5,000	5×50×5,000	6×150×5,000	10×25×5,000	12×200×5,000
3×15×5,000	5×75×5,000	6×200×5,000	10×30×5,000	15×50×5,000
3×20×5,000	5×100×5,000	8×15×5,000	10×40×5,000	15×75×5,000
3×25×5,000	6×15×5,000	8×20×5,000	10×50×5,000	15×100×5,000
3×30×5,000	6×20×5,000	8×25×5,000	10×75×5,000	15×125×5,000
4×15×5,000	6×25×5,000	8×30×5,000	10×100×5,000	15×150×5,000
4×20×5,000	6×30×5,000	8×35×5,000	10×125×5,000	15×200×5,000
4×25×5,000	6×35×5,000	8×40×5,000	10×150×5,000	20×40×5,000
4×30×5,000	6×40×5,000	8×50×5,000	10×200×5,000	20×50×5,000
5×15×5,000	6×50×5,000	8×60×5,000	12×50×5,000	20×75×5,000
5×20×5,000	6×75×5,000	8×75×5,000	12×60×5,000	20×100×5,000
5×25×5,000	6×80×5,000	8×100×5,000	12×75×5,000	20×150×5,000
5×30×5,000	6×100×5,000	8×150×5,000	12×100×5,000	20×200×5,000

18Φ×4,000	36Φ×4,000	70Φ×4,000	130Φ×長物
19Φ×4,000	38Φ×4,000	75Φ×4,000	140Φ×長物
20Φ×4,000	40Φ×4,000	80Φ×4,000	150Φ×長物
22Φ×4,000	45Φ×4,000	85Φ×4,000	160Φ×長物
25Φ×4,000	48Φ×4,000	90Φ×4,000	180Φ×長物
28Φ×4,000	50Φ×4,000	95Φ×長物	200Φ×長物
30Φ×4,000	55Φ×4,000	100Φ×長物	—
32Φ×4,000	60Φ×4,000	110Φ×長物	—
35Φ×4,000	65Φ×4,000	120Φ×長物	—

C3604BD-F/BF-F 在庫サイズ

50Φ×4,000	65Φ×4,000	90Φ×4,000	125Φ×長物	170Φ×長物	240Φ×長物
52Φ×4,000	68Φ×4,000	95Φ×長物	130Φ×長物	180Φ×長物	250Φ×長物
55Φ×4,000	70Φ×4,000	100Φ×長物	135Φ×長物	190Φ×長物	260Φ×長物
56Φ×4,000	72Φ×4,000	105Φ×長物	140Φ×長物	200Φ×長物	270Φ×長物
58Φ×4,000	75Φ×4,000	110Φ×長物	145Φ×長物	210Φ×長物	280Φ×長物
60Φ×4,000	80Φ×4,000	115Φ×長物	150Φ×長物	220Φ×長物	300Φ×長物
62Φ×4,000	85Φ×4,000	120Φ×長物	160Φ×長物	230Φ×長物	—

C3604BD-F/BF-F 低カドミウム在庫サイズ

50Φ×4,000	75Φ×4,000	100Φ×長物	130Φ×長物	180Φ×長物	
55Φ×4,000	80Φ×4,000	105Φ×長物	140Φ×長物	190Φ×長物	
60Φ×4,000	85Φ×4,000	110Φ×長物	150Φ×長物	200Φ×長物	
65Φ×4,000	90Φ×4,000	115Φ×長物	160Φ×長物	—	
70Φ×4,000	95Φ×4,000	120Φ×長物	170Φ×長物	—	

2. 納期対応・品質改善活動について

昨今、国内の成長鈍化で市場競争が激化する中、各お客様では、生産の効率化や自社製品の品質向上に努め、製品競争力を上げていく努力をされています。当然それに使われる材料に対し品質や納期についても一段と厳しいご要求が増えて居ります。当社は、このお客様のニーズにお応えする為、多くの社内改善活動を進めており、今回その一部をご紹介します。



写真：G K納期の番人達（製造部）

向かって左から伊藤主任、川崎課長、櫻井部長、横山課長

<納期対応>

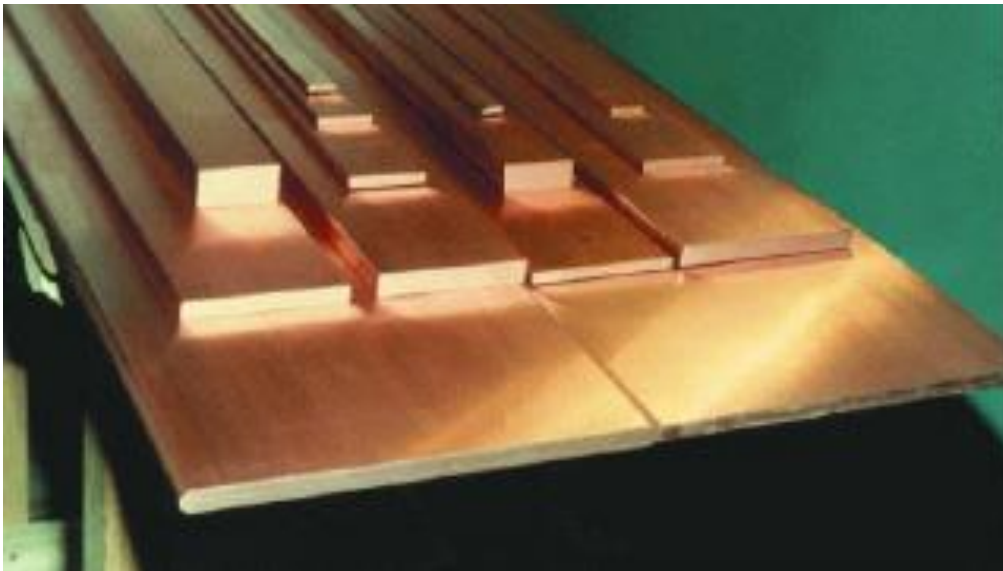
当社の銅材は、元になる材料をビレットで外部から調達しており、その調達タイミングが製品のリードタイムに大きく影響致します。営業部としては、お客様の需要情報をお聞きして生産計画に反映し、お客様の突発的な生産計画変更による納期前倒しご依頼に対し、毎週一回 営業部と製造部が生産組み入れ打ち合わせを実施し、お客様の声を反映したよりきめ細かい納期対応と納期遵守の精度向上を目指して参ります。

当社では、標準品サイズは受注後 30 日、一部特定サイズについては 2 週間、特殊品は 45 日での製造・出荷を目標としており、その実現の為に工程係が適切なタイミングでの原料調達から生産計画の立案を行ない、製造完了まで製造状況の進捗確認をしております。

納期面でのご相談は、なんなりと営業担当者までご相談下さい。

<品質改善>

当社は、2年前から株式会社カイゼン・マイスター（本社＝相模原市緑区）による指導を受けて居ります。トヨタ生産方式を実践してきたエキスパートに月1回講師に来てもらい、各職場の職場長が設備改善やスループット向上の指導を受けて居ります。又、自主改善活動として、品質向上の為に工程毎に不具合テーマの対策を「勉強会」や「なぜなぜ分析活動」を月に各1～2回開催し原因究明の深堀と抜本対策を議論しております。



足元、特に銅ブスバーの品質改善に努めており、表面傷・色むら、曲がり、反り、寸法公差の品質向上に設備改造を含めた対策を講じて参ります。

既に社内では製造部と営業部で、銅ブスバーの品質向上に関する打ち合わせをスタートさせており、一部改善策は既に製品製造に反映させております。

お客様のご要望に沿った、競合他社を上回る品質のご提供を目指したく、お客様には当社担当が提案にお伺いさせて頂きたくお願い致します。

「お客様に第一に選ばれる会社になる」よう、引き続き改善努力を実施して参ります。

記者 宮本

3. 「関西高機能金属展～メタル大阪」に出展しました



10月5日(水曜日) - 10月7日

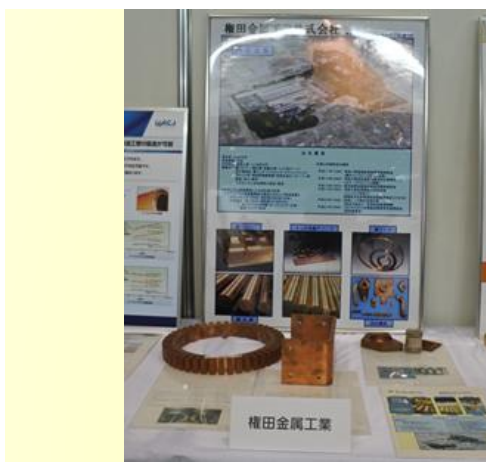
(金曜日) にインテックス大阪で

第三回「高機能金属展～メタル大阪」が開催されました。この展示会は、最先端の金属材料の紹介や、最新の金属加工、分析・検査機器など高機能金属に関する技術の専門展です。同時開催された関西高機能フィルム展、関西機械要素技術展と合わせて出展社 270社、来場者は3日間で59,700人を数えました。高機能金属展は2014年から毎年行われ、春は東京、秋は大阪と年に2回開催されています。

① 伸銅製品出展

日本銅センターが参加を募り、7社で協同出展しました。

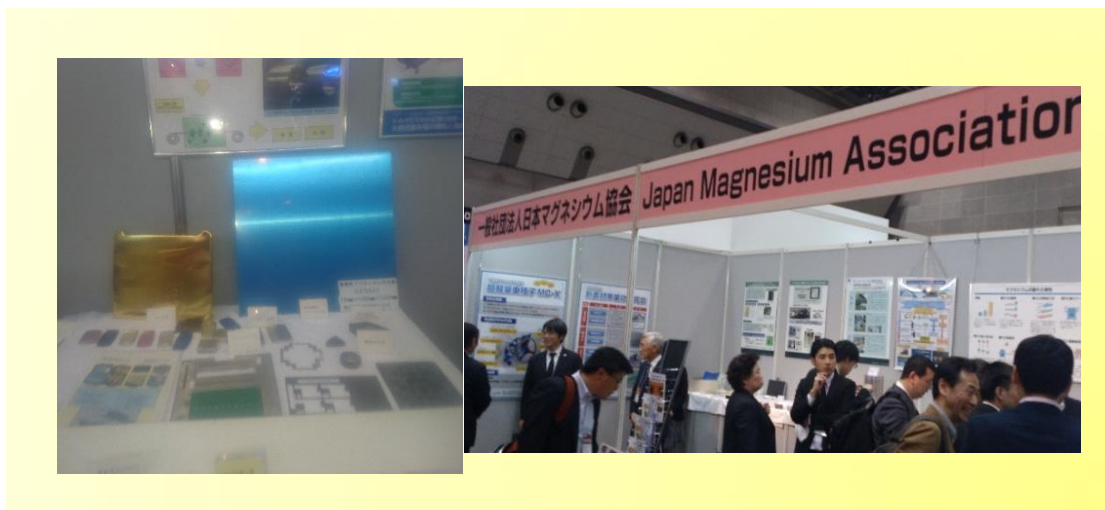
当社からは、電車のモーターに使われている銅鍛造リング、精密鍛造サンプル、ブスバーの曲げ加工品といった特徴のある伸銅品を出展しました。当社では1000トン鍛造プレスとリングローリングミルを使い、シームレスな銅リングを製造しています。型打鍛造品に関しては、630トンプレス機を始め各種プレス機を備えています、また、鍛造後の加工にも対応しています。



① マグネシウム製品を出展


マグネシウム製品に関しては、日本マグネシウム協会協賛の元に 8 社での協同出展となりました。当社はマグネシウムの展伸材で世界のリーディングカンパニーになることを目指しています。今回は当社のこのような意気込みを示すような品々を展示しました。国土交通省の不燃認定を受けたマグネシウムを使用した建材/エキスパンションジョイント、ヒートシンク用途などのマグネシウム鍛造品、切削加工品、携帯電話用筐体着色品などバリエーションに富んだサンプルを展示しました。

また、今回はマグネシウム合金の厚板も展示いたしました。この板は寸法が 10mm×500mm×500mm、当社独自の製法で製作したものです。マグネシウムの高品質の厚板の展示は業界全体を見渡してみても際立っており、往来のお客様も多く足を止めて興味深げに眺めていらっしゃいました。



展示会自体も好評の上、当社のブースへも多くの皆様にお越しいただき、盛況のうちに 3 日間を終了することが出来ました。展示会のブースでお会いしたお客様から頂戴したご意見、ご感想をものづくりの参考にして、今後もより良い製品を作り続けていこうと思っております。お忙しい中、沢山のご来場、誠にありがとうございました。

記者 田中



4. 銅相場『2016年第4四半期見通し』

1. 電気銅建値推移

2016年7月・・・540円スタート（7月平均547.5円）

2016年8月・・・550円スタート（8月平均525.9円）

2016年9月・・・520円スタート（9月平均525.0円）

2016年10月・・・530円スタート

2. LME在庫状況及び需給状況

LME指定倉庫在庫状況は、一年の折り返しである7月は約19万トンからスタートした後、少しずつ増加傾向を辿り、9月末には約38万トンまで増加した。

これは中国を中心とした需要の鈍化、供給過剰が原因と考えられる。

銅の最大消費国である中国の景気は、民間の設備投資は過剰投資が足かせとなり減速傾向ではあるが、国有企業の設備投資やインフラへの投資が継続しており、中国経済を下支えしている状況。

米国景気は実質個人消費（PCE）等の数値が堅調に推移している事や消費者物価指数等が堅調な動きを示しており、個人消費全体の動きは堅調、景気は緩やかに拡大していると評価する事が出来そう。

供給面では、国際銅研究会（ICSG）の春季予測では約5.6万トンの供給不足と予想しているが、アフリカ地域の新鉱山の生産が堅調に推移しているという情報もあり、大幅な供給不足状態は見受けられない。

コンゴのKatanga鉱山（年間生産量15万トン）では2015年9月に発表した改良工事による18ヶ月間の操業停止を2017年3月まで6ヶ月間延長するというニュース等も入ってきている。

相場面では商品相場市場に大きな影響を与える原油価格は、1バレル=\$50を回復しており、その後も\$50前後のレベルを維持している事から銅相場を下支えしている。

3. 為替の見通し

ドル円相場は米国の動向に影響される側面が大きい。米国連邦準備制度理事会（FRB）は9月に開催した連邦公開市場委員会（FOMC）でも政策金利の引き上げを見送った。次回11月のFOMCは米国大統領選の直前に予定されており、利上げ発表は難しい。FRBのイエレン議長は、2016年末までの利上げの可能性に言及しており、雇用改善や物価上昇等が確認出来れば、12月に利上げを実施するのではないかとの見方が出ている。11月8日に予定されている米国大統領戦は、民主党クリントン氏、共和党トランプ氏のいずれが大統領となっても政策への期待感からドル高円安の方向に進む可能性が高そう。

銅相場については下記の通り予測する。

短期予測（1M）	LME	\$ 4,600~5,300/t	為替	100~107 円/\$
		銅建値	500~570 円/kg	
長期予測（3M）	LME	\$ 4,500~5,600/t	為替	98~108 円/\$
		銅建値	500~620 円/kg	

記者 日吉

